

# 藍住町 議会だより

第 49 号

平成19年5月25日

発行 藍住町議会  
編集 議会だより編集委員会  
徳島県板野郡藍住町奥野  
字矢上前52-1

電話 (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



桜つつみ公園



## CONTENTS

3月定例会	P.2
総体質問	P.4
議員5人が一般質問	P.5~9
常任委員会報告	P.10~11
議会のうごき	P.12

# 3月定例会

3月定例会は3月7日から23日までの17日間の会期で開会された。平成19年度一般会計予算など31議案と、議員提案の1議案が原案のとおり可決された。

石川町長は平成19年度の所信表明を行った。

## 重点施策とその取り組み方針等

### 保育料徴収基準の軽減措置拡充

幼稚園、保育所に在籍する幼児を対象範囲とし、年齢順に保育所に入所している二人目を半額、三人目の保育料を無料とする方針で準備を進めている。

### 幼稚園特別保育の時間延長

最終預かり時間を本年四月から午後六時まで延長する。

### 就学前の子供たちの環境についての対策

平成十九年度の早い段階で、今後の就学前児童対策に関する検討組織を立ち上げ、幼稚園、保育所等の役割と在り方について検討を行いたい。

### 国民文化祭

本年十月二十七日から十一月四日にかけて、藍の文化の「シンポジウム」「藍フェスティバル」勝瑞城館跡関連として「文化探訪」の三事業を予定。本町の伝統文化を活かした特色ある「町民総参加」の国民文化祭となるように進めたい。

### 勝瑞城館跡の国史跡追加指定

既指定地東側約八千八百平方メートルが国史跡に指定された。国・県の補助事業として、概ね三ヶ年を目途に公有地化を進めたい。

### 指定ごみ袋の有料化

ごみ処理負担の公平化によるごみの減量・分別の促進を目的とし、本年九月から実施したい。さらに住民サービス向上に努めて参るので、住民の皆様の御理解御協力をお願いしたい。

### 西クリンステーション施設の修繕

竣工から約二十六年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、焼却設備の能力回復、延命化と維持管理費の低減を目的として、焼却炉等の修繕工事を行っていききたい。

### 水道浄水場の整備

自然災害時の防災対策として是非とも必要な事業であり、重要なライフラインである水道施設をより強固なものとしていきたい。

### 災害用応急井戸

防災団の団員を中心に、二月末までに二十九本の登録の申し出をいただいた。広く住民にも協力をいただきながら、安全で衛生的な生活用水確保の多重化に向けて取り組んでいきたい。

### 木造住宅の耐震診断への助成

平成十八年度は十一件、耐震改修助成制度は二件の利用があった。平成十九年度も引き続き助成を行っていく。

### 自主防災組織の育成、拡充への取り組み

自治会からの要請による「防災講座」の開催や、コミュニティ助成事業を活用した自主防災組織の用品整備を実施。今後も自主防災組織の組織化及び用品整備の支援に取り組んでいきたい。また、昨年、「藍住町防災団」が結団されており、経験と知識・技能を生かし、各種災害に対する意識啓発や、自主防災組織の結成促進に協力をお願いする等、有事に備えたい。

### 中央クリンステーション収集業務の民間委託

本年四月からの実施に向け、住民サービスを維持しながらスムーズな移行が行えるよう、委託予定業者と

の間で職員の服務規程の協議や習熟訓練に努めていく。

### 給食・調理部門の民間委託に関する方針

「給食・調理部門民間委託基本方針」がまとまった。平成十九年度からは、計画的に住民の意識調査を実施するとともに、保護者説明会等を開催し、関係者に不安を与えずサービスの維持が図られる基本計画を策定したい。

### 徳島県基礎自治体体力アップ推進事業交付金

平成十八年度の交付団体に決定された。これまでの行財政改革による歳出削減等の取り組みが評価されたものであり、住民の皆様の御理解、御協力に感謝を申し上げる次第である。

# 平成19年度一般会計予算 83億9,000万円

※前年度当初予算対比11.7%増額

## 主な予算

(1万円未満切り捨て)

### 総務費

- 危機管理対策費 1,533万円
- 選挙関係費(4選挙) 3,482万円

### 民生費

- 児童手当 3億1,185万円
- 勝瑞児童館増築工事費 3,240万円

### 土木費

- 道路維持費 1,669万円
- 道路簡易舗装費 5,876万円
- 一般町道新設改良費 1,068万円

### 衛生費

- 焼却炉施設修繕工事費 6億円
- 乳幼児医療扶助 1億7,250万円

### 農林水産業費

- 農地防災事業費 2,041万円
- 一般排水路改良費 3,312万円

### 消防費

- 板野東部消防組合等負担金 4億 735万円
- 災害対策費 1,153万円

### 教育費

- 勝瑞城館跡整備事業費 1億9,391万円
- 国民文化祭実行委員会補助金 1,100万円

## 平成19年度予算(会計別)の状況

(単位：円)

会計名		予算額	前年度当初予算対比
一般会計		83億9,000万	11.67%
特別会計	国民健康保険事業	26億6,571万3,000	15.47%
	老人保健事業	17億5,371万	0.01%
	介護保険事業	16億 20万1,000	0.59%
	介護サービス事業	1,600万	(新設)
	藍寿苑介護サービス事業	3億 763万3,000	△ 4.78%
	下水道事業	4億 700万	△53.91%
	水道	収益的支出	3億8,867万5,000
資本的支出		6億 436万7,000	165.00%

徳島県後期高齢者医療  
広域連合議員

広域連合が2月1日に設立され、原徳島市長が連合長に就任。これに伴い、定例議会最終日において、広域連合議会議員に奥村晴明副議長が選任された。

◎ 請 願 ◎

一件の請願があり、採択されました。

●生活保護の「母子加算」廃止に反対する国への意見書を求める請願書……採択

## 平成18年度3月補正予算(会計別)の状況

(単位：円)

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		78億8,500万	△1億4,900万	77億3,600万
特別会計	国民健康保険事業	27億8,391万1,000	△1億2,688万3,000	26億5,702万8,000
	老人保健事業	17億5,359万	6,133万1,000	18億1,492万1,000
	介護保険事業	16億4,747万	△ 6,149万3,000	15億8,597万7,000
	下水道事業	8億8,300万	△1億2,073万	7億6,227万

## 行財政改革について

潜在的な財政基盤の危機的要素はいくらか  
縮小されたが安心はできない

**問** 北海道夕張市の財政破綻が、三百五十三億円と報道されている。又熱海市における財政危機宣言や県内でも鳴門市や小松島市においても厳しさを増す財政状況が伝えられている。町民の間でも「藍住町はほんまにいけるのか、大丈夫なのか」と不安視する声が多い。具体的数字を出し今の町財政状況を町民に対してはっきり答えていただきたい。

**答** 普通会計の起債残高では、平成十五年度末の九三億一、八〇〇万円から十八年度末見込みでは七六億五、一〇〇万円に減少している。一方、取り崩し可能な積立金残高は、平成十五年度末の一四億九、一〇〇万円から平成十八年度末見込みでは一七億六、八〇〇万円に増加している。行財政改革に取り組む中、一時期の逼迫した状況からは一定の改善がみられるが、施設の維持補修や少子化対策、環境対策など財政需要が累積しており、まだまだ安心することはできない状況である。

### 小・中学校に熱心な教師の確保を

大きな課題として認識し努力する



小川 幸英 議員

**問** 校長、副校長も含めて優秀な教員を町外に異動することを抑え、前向きで熱心な教員の確保はできているのか。又小学校において県下の大会に優秀な成績を上げた子供たちが中学校へ行くとあまり伸びてこない、これは中学校において指導者不足と思われるが、スポーツの指導ができる教師の確保は出来ないか。

援するシステムを整備する必要があると考えている。

**答** 学校経営に力量のある管理職、教科指導や生徒指導に情熱と力量を兼ね備えた教員の確保、優秀な指導者の確保は大きな課題であり、今後も引き続き努力したい。中学校の部活動を支

### スポーツレクリエーションの拠点作り

積極的に活用を図りたい

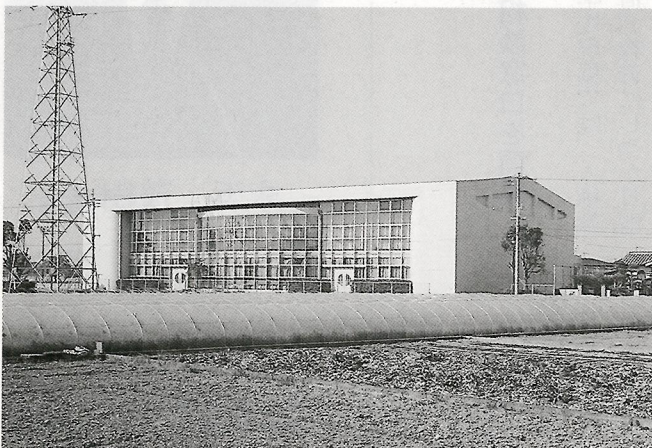
**問** 町民体育館にトレーニング室があるが現在まったく使われておらず、ここ何

年間は何器具置き場になっている。高齢化社会に向けた大きなテーマ、健康レクリエーションを通じてあらゆる世代や体の不自由な方々が集い楽しめる拠点作りにはどうか。又そのためにスポーツ器具の充実を図ってはどうか。

**答** トレーニング室については、あいずみスポーツクラブが今年度初めて取り組んだ健康運動教室を中心に積極的に活用を図りたい。今後の利用状況を十分把握した上で、器具の購入も必要であれば検討したい。

### その他の質問

- 商工業活性化について
- 環境について
- 国民文化祭について



町民体育館

# 教育再生会議検討課題

## 第2次報告に向け 教育現場組織の整備が図られることを期待

**問** 「第一次報告」基本的には、学校や教員が切磋琢磨して創意工夫、多様性を確保し個々の能力を最大限伸ばす教育、地域に対する説明責任を果たす運営、子供たちのモラル・学ぶ意欲の低下、家庭や地域の教育力の指摘等。「教育再生」では、ゆとり教育の見直しの一環、増員による教員の心のゆとりで、充実した指導内容、教員が創意工夫をこらした授業を行うよう促すのが目的。また町教委の対策として、子供の教育は家庭・学校・地域社会の連携を。

**答** 困難な問題を多く抱える教育現場の一番の要望は人員の配置であり、望ましい人的体制の整備が図られることを期待している。家庭と地域の連携や地域の特性にあった対策をしていきたい。

### いじめ対策

昨年十二月教育委員会に

いじめ相談窓口を開設



永浜 茂樹 議員

**問** いじめは解消されたと思っていた生徒が再びいじめられた事例など、県教委事務局がいじめをなくすためにと題した教員向け手引き書を作成した。本年度内に八千部県内公立全校教員に配布。具体的事例や指導法、発見のチェック項目などを記載。いじめは、児童生徒の心身の健全な発達を妨げる深刻な問題。町教委として今後の積極的な情報把握と対策を伺いたい。

**答** 学校現場では、人権教育、道徳教育にしっかりと取り組むことが必要であると考えられる。いじめ事件については早期発見、早期対応が重要であり、関係者と連携しながら真剣に取り組んでいる。

### 防災対策

準備を進めているところである

**問** 災害に備え「防災マップ」「ハザードマップ」の配布と、町の浄水場公共避難場所、役場、学校等に「LED」の導入を。子ども地域住民の防犯灯としても可。又、自主防災組織の支援策として、各自治会、駐在員の方に防災無線ラジオの配布を。

**答** 現在、洪水を対象としたハザードマップを作成中であり、国土交通省で旧吉野川の浸水想定区域図の告示、公表が行われた後に配布したい。防災マップは平成十四年に配布したが、見直しが必要であり、また想定災害が異なるため、別に作成を考えている。LED照明については、本年度、藍住東中学校体育館入り口と町民体育館入り口に試験的に導入することになっている。防災行政ラジオについては、自主防災組織や駐在員、自治会長の方を対象に、希望の自治会等への配布を行いたい。

### その他の質問

- 国民文化祭に向けての「環境保全対策」
- 「ボランティア不法投棄監視員の委嘱」
- 北環状線周辺に「交番設置を」



太陽光発電によるLED照明

## 行政は老人医療を切り捨てるのか？

広域連合は財政の安定化を図るため設立

**問** 七十五歳以上の後期高齢者の医療制度が、従来市町村で運営していたものを、二〇〇八年度から「広域連合」という特別な公共団体を新たに作って運営しようとしている。医療費の抑制や適正化といわれているが、介護保険のように自己負担が膨らみ高齢者が病気になるっても病院へ行けなくなるのではないか。

**答** 高齢化が進む中、医療の給付についても増加すると見込まれているが、小さな自治体だけでは運営が難しく、財政の安定化を図る観点からも広域での実施という判断がなされたと考えている。

## 十五億六千万円の巨大事業は税金の無駄遣い？

災害時の飲料水確保は必要



喜田 敏夫 議員

**問** 大地震に備えて町民の生活用水の確保のために貯水タンクを作る計画であるが、大地震では「藍住町全域が液状化になる」と予測されている。当然、水道管、下水管等はズタズタに寸断される。そうなった時、貯水タンクに水があっても何の役にも立たない。厳しい財政状況というのであれば、こんな無駄な事業はやめるべきである。

**答** 浄水場配水池容量の不足の解消及び耐震調査結果に基づき老朽化浄水施設の更新が必要であるため、予想される液状化、地震等に

耐える浄水場の整備を図り、災害発生時に水道システムの安全性、危機対応性を高め、飲料水等の生活用水を確保するものである。応急用として、配水池より直接取水できる設備も設ける。



学校調理室

## 教育まで民間委託するのか？

これまでと変わらない給食を提供

**問** 行財政改革の一つとして藍寿苑と学校の給食を民間委託するというが「子供たちが温かくて、おいしい給食を食べることを通して学ぶ」という「食育」が大きな教育の柱になっている。また、「食の安全」が大きな社会問題になっているときに「財政難で職員の削減」だけを目的にした民間委託は本末転倒ではないか？

**答** 厳しい財政状況の中、町民の皆様の御理解を得ながら給食調理部門の民間委託を順次進めていく方法が一番良いと考えている。今後、アンケート調査等を実施し、住民の意見を求めながら詳細な基本計画を策定していきたい。食材の購入は町が責任を持って行う。

# 町政のここが聞きたい

## 子供たちの情報化社会への対応

(パソコンや携帯電話の光と影)

今後も更に注意を払いたい

**問** 情報化社会、I Tの推進により一億人携帯電話の時代、そして、家庭や職場、学校ではパソコンが身近にありインターネットで様々な情報が得られ通信も可能しかし、便利な反面、危険性も指摘されている。子供たちの利用実態、安全な使用への教育、保護者との連携など今後の取り組みについてお尋ねする。

**答** 学校現場においては機会を捉えて子供たちに注意や指導をしている。保護者の方に対しても注意を喚起したいと考えている。

## 子育て支援対策

(平成十九年度の取り組み)

これまでの充実した子育て支援策を損なうことなく検討を続けたい

**問** 子育て環境を転入の理由とする方も多し中、子育て支援の現状と今後の具体的施策について。平成十九年度に就学前児童対策に関する検討組織を立ち上げ幼稚園、保育所等の役割と在り方について検討するようだが、その目的、方針についてお尋ねする。

**答** 幼児教育や保育に対する多様なニーズが出てきたこと、多様な保育サービスを選択できるようにするという観点からも民間活力の導入を検討する必要性を感じている。本町の幼稚園、保育所等の在り方について検証し、就学前幼児に関するシステムをどのように構築すべきか有識者による検討組織を立ち上げた。



西岡 恵子 議員

## ごみ対策

(ごみ袋有料化に向けての具体的取り組み)

有料化に向け周知に努めたい

**問** ごみの減量化、分別を目的としたごみ袋有料化に向けての取り組み、特に住民への具体的対応と生活弱者への配慮についてお尋ねしたい。

また、天ぶら油等、家庭

からでる廃食用油は現在、町商工会が回収している。

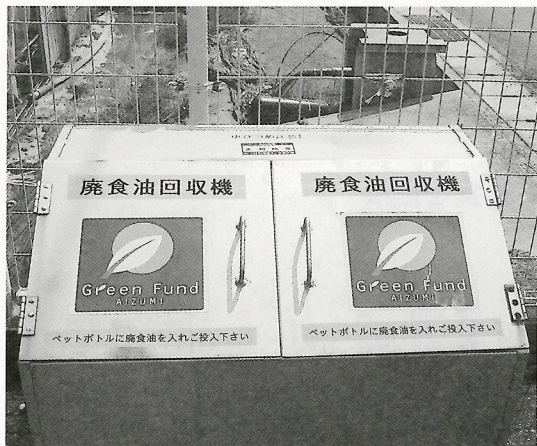
これはごみの減量化、水環境の保全につながる有効な手段と考えるが、住民への周知が不十分である。広報活動や回収場所の増大を求める。

**答** 駐在員会や回覧板、広報紙やA Iテレビにより周知を図り、分別ハンドブックとごみ指定袋の試供品を全戸配布する予定である。経済的弱者については、無

料給付を前提に前向きに検討していきたい。廃食用油回収については、PR等の啓発に努めるとともに、設置場所の増加等、この事業をバックアップしていきたい。

## その他の質問

- 「放課後子どもプラン」推進事業について
- 学校給食での地産地消、今後の展望について
- 給食部門民間委託について(藍寿苑)
- 吉野川水系河川整備計画への本町の方針について



廃食用油回収機

## 給食の民間委託は撤回すべき

町が責任を持って安全で安心な給食を提供する

**問** 給食の民間委託は、財政運営の採算性の観点が強くなりすぎ、教育そのものである学校給食を切り捨て、委託による安全面や衛生面での行政責任を曖昧にし責任放棄だ。

また、子どもを預けている保護者並びに給食業務に従事する職員の合意を得ないまま委託計画が進められていることも大きな問題だ。学校給食が定める子ども自身の発達を保障するという教育を実現するために、自治体の責任において実施されるべきであり、その責任を放棄する民間委託化は撤回すべきだ。

**答** 学校給食調理業務等の経験が豊かで衛生管理や調理員の教育がしっかりした信頼できる業者に委託、食材については今までどおりの購入を考えている。今後、保護者との意見交換会などを開催し、理解を得たい。

## 老朽管の取り替えを最優先せよ

石綿管の布設替えは現在も毎年実施している



林 茂 議員

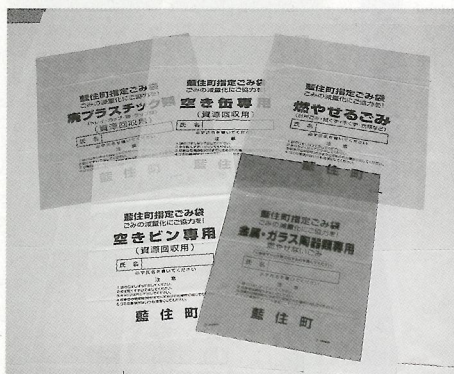
**問** 町内の水道管には、アスベスト管など老朽管が多く残されており、浄水場建設よりさきに老朽管を取り替えるべきだ。

町内の老朽管の状況と老朽管取り替えの工事費用額は、布設替えの年次計画は、大規模な工事について指名入札を改め一般競争入札にすべきだ。

**答** 容量不足の解消と耐震調査結果により老朽化浄水施設の更新を行う。水道用石綿管は町全体の配水管延長の約七・一％、九、九二八メートルが残っており、工事費は概算で五億円程度、七年から十年程

度の工期を要すると考えている。

一般競争入札は競争性が高い反面、不良・不的確業者の混入する可能性が大きく、実施手続きの複雑化等の理由から、現時点では慎重に対応すべきと考えている。



ごみ袋試供品

## お年寄りなどにやさしい行政を

関係各課と協議し  
実施の方向で検討したい

● 公共下水道より合併浄化槽の推進を

**問** お年寄りや粗大ごみを持ち込みできない家庭などに対しては、町が収集すべきだ。

生活困窮者・低所得者に対するごみ袋の無料化を実施すべき。所得五十六万円以下が二〇〇〇世帯もあり生活保護基準以下で暮らしを支えている。

**答** 粗大ごみについては、九月のごみ袋有料化と併せて、休日の受け入れや持ち込みできない家庭について職員が直接取りに行くように実施したい。  
経済的弱者に対するごみ袋無料支給については、対象者等を現在検討中である。

その他の質問



# 常任委員会審査結果より

総務・建設産業・文教・厚生各常任委員会が開催されました。主な内容は、次のとおりです。

## 総務常任委員会

三月二十日、総務常任委員会が開催された。

滞納整理機構への移管分の回収状況に関し、現在、四千四十八万円の収入を受けており、毎月入金状況報告も受けているとの答弁であった。町税等の滞納に対して職員一丸となって徴収に取り組むとともに、税金等の使い方をもう少し考えて欲しいとの意見が出された。

税源移譲や定率減税

の廃止により、住民税は増えるが、一方で、所得譲与税や地方交付税、特例交付金は減ってくるとの説明であった。

パブリック・コメント  
手続条例の町の施策への反映について、関係各課と十分協議し、住民の意見を反映できるものに、また、審議会等を設置する場合においても、住民の意見を参考にしながら答申を出してもらおうように考えているとの答弁であった。

三月十六日、開催され、町道路線認定・変更について現場視察を行った後、関係理事者から説明を受け審査を行った。

土木費の予算の内、登記手数料について、工事を実施した箇所で分筆できていない箇所の登記をするため測量や分筆図の作成を測量士や土地家屋調査士に依頼するための費用であるとの答弁であった。



現場視察する委員

営農地防災事業に伴う補償工事費に対する国の負担については、国からの移転補償費として四千一七六万円を資本的収入として計上しているとのことであった。

## 建設産業常任委員会

## …定例会案内…

次の定例会は6月です。  
次号は8月に発行します。

### ●お問い合わせ●

議会事務局 ☎637-3127

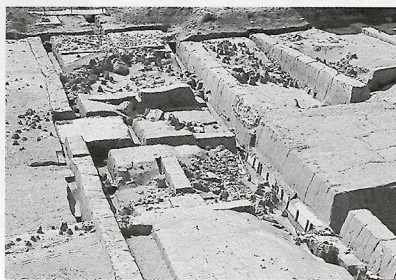
## 本会議を 傍聴しませんか？

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので御了承下さい。

## 文教常任委員会

三月十九日、文教常任委員会が開催された。国民文化祭について、全体の事業費として県と町の補助金を合わせて三千五〇〇万円を予定しており、藍と文化と吉野川に関するシンポジウム、藍フェスティバル、勝瑞城館跡でのイベント、シンポジウムを開催する予定であるとの説明であった。学校のコンピューター借上について、各小学校二十一校、中学校四十五



国民文化祭・勝瑞探訪(館跡)

台あり、小学校は十九年度各校四十三台を計画しているとの説明があった。幼稚園図書室について、幼児教育は非常に大切であり、本に親しめるよう充実を図ってほしいとの意見があった。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関する御意見をお寄せ下さい。

### 投 稿 規 定

- 一 住所・氏名・電話番号を明記。
- 二 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三 字数は五〇〇字以内。
- 四 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

三月十五日、厚生常任委員会が開催された。在宅当番医制委託料について、板野郡医師会に休日と夜間の当番を委託し、人口割、均等割、財政割に応じて各町が負担している。救急医療対策補助金については、県の二次救急医療体制に伴い、二次救急で県の指定している病院に対して委託しているものであるとのことであった。

西クリーンステーションの焼却炉の補修工事費については、炉の改修費用であり、電気集塵機の解体、撤去費等付属しているものも含まれている。見積もりを徴してどのような方向で進めていくか検討中であるとの説明であった。

## 厚生常任委員会

# わたしの一言

矢上 濱 節子さん



藍住町に住んで10年になります。まちの取り組みでいいと思っているのは、地産地消の考えを取り入れた学校給食。ママ友達の間でも好評で、子供もおいしいと喜んでます。学校で藍染めが学べるのも、藍住らしくていいと思います。下の子は、児童館で遊ぶのが大好き。児童館が多く、近くにあり有り難いです。そこで有償ボランティアの、お年寄りの指導員で、どうでしょうか？あやとりや紙飛行機など昔遊びを教えてもらったり、子供達がお年寄りとふれあえる場所にもなればいいなと思います。不安に思っていることは、学校の耐震化が進んでいないことです。財政的に厳しいといいながら、一方で莫大な費用をつぎ込んで進めている下水道工事には疑問を感じています。下水道工事の二期工事は止めて、少ない費用で同等以上の効果が実現できるといわれる合併浄化槽の普及に力をいれた方がいいのではないのでしょうか。無駄なことにお金を使わず、学校の耐震補強など大切なことを優先してほしいと思います。

## 議会のうごき

## Schedule

- |        |          |         |         |           |        |         |          |            |          |        |            |     |                    |                              |         |         |    |                     |             |           |           |                       |                       |                        |                       |            |    |        |          |                               |
|--------|----------|---------|---------|-----------|--------|---------|----------|------------|----------|--------|------------|-----|--------------------|------------------------------|---------|---------|----|---------------------|-------------|-----------|-----------|-----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------|----|--------|----------|-------------------------------|
| 23日    | 20日      | 19日     | 16日     | 15日       | 14日    | 13日     | 10日      | 7日         | 26日      | 16日    | 14日        | 13日 | 8日                 | 2日                           |         |         |    |                     |             |           |           |                       |                       |                        |                       |            |    |        |          |                               |
| 教職員離任式 | 3月定例議会閉会 | 総務常任委員会 | 文教常任委員会 | 建設産業常任委員会 | 小学校卒業式 | 厚生常任委員会 | 藍住町防災団総会 | 3月定例議会一般質問 | 3月定例議会開会 | 中学校卒業式 | 徳島東部処分場落成式 | 3月  | 徳島県市町村トップセミナー(徳島市) | 徳島県市町村協議会定期総会・自治功労者等表彰式(徳島市) | 議会全員協議会 | 議会運営委員会 | 2月 | 板野郡協議会事務局職員研修会(松茂町) | 議会、だより編集委員会 | 板野郡議長会定例会 | 徳島県市町村協議会 | 後期高齢者医療広域連合議会説明会(徳島市) | 後期高齢者医療広域連合議会説明会(徳島市) | 板野西部青少年補導センター組合議会(板野町) | 後期高齢者医療広域連合議会定例会(徳島市) | 板野東部消防組合議会 | 4月 | 教職員着任式 | 小・中学校入学式 | 議長会事務説明会並びに町村議会事務局・職員研修会(徳島市) |



## 編集後記

今年は、憲法が施行されて六十年です。いま改憲手続き法案について、国民の多くが疑問をもつのが、一つは一定の投票率を超えないと国民投票そのものを無効とみなす投票率の問題です。与党案にはこの規定がなく、有権者の一割台、二割台の賛成でも改憲案が承認される不公正な仕組み作りとなっております。もうひとつは、公務員教育者には「地位利用」を口実に国民投票運動を制限しているが、主権者に規制をかけるのではなく、誰もが自由に意見表明すべき国民投票、国民の民意を反映する法案でなければなりません。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 西岡 恵子
  - 副委員長 小川 幸英
  - 委員 林 茂
  - 委員 喜田 敏夫
  - 委員 奥村 晴明